

市長あいさつ

皆さま、こんにちは。

少しずつ日脚も伸びはじめ、日の光にも春の気配が感じられるようになりました。

さて、新型コロナウイルスへの対応でございますが、国は、3月13日より屋内・屋外を問わずマスクの着用については原則として個人の判断に委ねるということになりました。また5月8日からは感染症法上での位置付けを、新型コロナウイルス感染症について「2類」から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に変更することといたしました。

身の回りの環境がこれから大きく変化することが予想されます。

新たな環境下におきましても、市民の皆さまが安心安全な暮らしを守りながら、健康で幸せな生活を送れるよう、継続性を持った各種施策を実施してまいりたいと存じます。

それでは、本日の発表事項に移ります。

はじめに令和5年第1回取手市議会定例会議案についてでございます。

会期は、2月28日からとなります。

定例会に提出する議案は、条例の制定が1件、条例の一部改正が11件、財産譲渡が1件、市道路線の廃止が1件、令和4年度補

正予算が6件、令和5年度当初予算が7件、そのほか教育委員会委員長の選任などの人事案件合わせて28件を提案いたします。

はじめに、条例の制定は、取手市個人情報の保護に関する法律施行条例についてを提出いたします。

条例の一部改正は、取手市個人情報保護条例の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例についてなど11件を提出いたします。

財産譲渡につきましては、中央保育所を廃止・民営化することに伴い、保育所建物及び附帯設備一式を無償で譲渡することについてでございます。

次に一般会計補正予算案についてご説明いたします。

一般会計補正予算の総額は、20億1,634万7千円の増額で、補正後の予算総額は47億1,612万5千円となります。

主な歳出補正予算の内容ですが、一点目に、国の令和4年度補正予算に対応する事業として、8億9,685万7千円を計上いたします。

主なものは、白山小学校長寿命化改良事業など学校施設整備事業であります。

二点目に、地域振興基金積立金として、11億3,589万5千円を計上いたします。

合併特例債の基金造成分を活用し、地域振興基金への積み立てを行うものであります。

次に、令和5年度当初予算案についてご説明いたします。

一般会計の当初予算の規模は、409億1千万円となり、前年

度当初予算と比べ19億円の増、4.9パーセントの増となります。

予算規模が増となった要因は、令和4年度に設置した地域振興基金の積立金を約11億円計上したことなどによるものであります。

取手駅西口都市整備事業、国民健康保険事業など六つの特別会計を合わせた予算規模は、265億2,396万円で、前年度当初予算と比べて12億829万円の増となります。

なお、一般会計、特別会計を合わせた全会計の予算規模は、いずれも過去最大となります。

「魅力ある都市空間づくり」、「定住化促進」、「少子高齢社会への対応」、「将来を見据えた持続可能な教育」の四つの事業を推進しつつ、新型コロナウイルス感染症対策、市民協働と持続可能な自治体経営、さらには地球温暖化対策を市政全般に係る重要施策と位置づけ、ぬくもりとやすらぎに満ち、共に活力を育むまちを目指し、市民の皆様の幸福感や満足感をさらに高める取組を継続してまいります。

主な事業といたしましては、引き続き中心市街地の整備や新市街地の創出に取り組み、魅力ある都市空間づくりを進めてまいります。

また、市の知名度・魅力度の向上を図りつつ、首都圏からの移住を主なターゲットとした定住化促進策を展開します。

さらに、妊産婦・子育て女性をはじめとした様々な世代の健康

づくりの促進や取手駅のバリアフリー化など、少子高齢社会への対応を多角的に進めます。

また、学校施設の改修や通学路整備などをはじめとした教育環境の充実にも引き続き取り組みます。

加えて、当市はかねてより昨今の気候変動等を鑑み、様々な地球温暖化対策に取り組んでおり、令和5年度は、引き続き児童生徒への環境教育などを推進するとともに、再生可能エネルギー導入に向けた検討なども多角的に進めてまいります。

第1回取手市議会定例会については、以上となります。

次に、SDGs啓発冊子「TORIDE SDGs ACTION NOTE」が完成したことについてでございます。

SDGsは、2030年を目標期限とした国際的な行動目標で、国連では、2020年からの10年間を「行動の10年」と位置付けております。

取手市におきましても、令和4年4月1日付けで「取手市SDGs推進本部」を設置し、目標達成に向けた取り組みを進めてきました。

この度、SDGsの理念や17のゴールに関連する取手市での取り組みを市民の皆さまと共有し、ともに2030年に迫る目標期限に向けた行動を加速していくために、SDGsの啓発冊子を作成しました。

市役所や各公共施設の窓口での配布に加え、SDGsのゴール

の達成期限である2030年頃に社会に出る年齢となる中学生の皆さまに、持続可能な未来を作るために、今どんな取り組みをするべきかを考えるきっかけとしてもらうため、3月1日より市内公立中学校の全生徒へ配布をいたします。

次に、応急手当普及啓発PR動画を制作！ということについてでございます。

取手市消防本部は、救急現場に居合わせた人が、迅速で効果的な心肺蘇生法とAEDをためらわずに実施してもらうため、応急手当の普及啓発を目的としたPR動画を制作しました。

動画を視聴することにより普通救命講習会へ興味をもつていただくことで、受講率の向上、さらには救命率の向上を目指していきます。

このPR動画の制作につきまして、取手市消防本部が組織する応急手当普及啓発プロジェクトチームのアクションの一環であり、若手職員が中心となりまして、消防職員のみで約3か月をかけて自主制作をしたものであります。

ユ ー チ ュ ー プ
YouTube取手市公式チャンネルにて3月1日より公開するほか、救命講習会や各種消防訓練などで動画を放映、また、二次元コードの表示などで周知を図ってまいります。

以上で、私からの説明を終わります。